

0:32 受
1/1

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19865報)

2019年 7月 6日 0時 22分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 7月5日、23時54分頃、増設アルプス(C)クロスフローフィルタ(C)スキッド1の漏えい警報が発生しました。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発生時刻 23時54分頃 ・発生場所(設備名称) 増設アルプス(C)クロスフローフィルタ(C)スキッド1 ・漏えい箇所 確認中 ・発見者 当社社員 ・漏えい範囲 確認中 ・拡大防止処置 確認中 ・漏えい継続の有無 確認中 ・外部への影響 確認中 <p>現在、現場状況を確認しており、状況が分かり次第お知らせします。</p> <p>【公表区分：C】</p> <p>※添付の有・無 <input checked="" type="radio"/> 無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2:27 受

1/1

様式0-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19866報)

2019年7月6日2時10分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) 第19865報でお知らせした、増設アルプス(増設多核種除去設備)(C)クロスフローフィルタ(C)スキッド1の漏えい警報発生について、その後の状況をお知らせします。</p> <p>状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏えい箇所 バックパルスポート周辺に水滴を確認したことから、バックパルスポートからの漏えいと推定される。 ・漏えい範囲 約2m×3m×深さ0.001m(バックパルスポート近傍床面) 約0.1m×2m×深さ0.02m(漏えい検出器ため枘内) ・拡大防止処置 当該設備を停止した。 ・漏えい継続の有無 なし ・外部への影響 なし <p>漏えいした水は、堰内に留まっている。</p> <p>今後、漏えい水の分析を実施します。</p> <p>【公表区分：C統】</p> <p>※添付の有・<input checked="" type="radio"/>無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

6:59分
1/1
様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19867報)

2019年7月6日6時40分	
内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿	
第25条報告	報告者名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301	
原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき, 応急措置の概要を以下の通り報告します。	
原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19865報他でお知らせした, 増設アルプス(増設多核種除去設備)(C)クロスフローフィルタ(C)スキッド1の漏えい警報発生について, その後の状況をお知らせします。 ・漏えい水の分析結果は以下のとおりです。 Cs-134 2.9×10 ² (Bq/L) Cs-137 3.9×10 ³ (Bq/L) 全ベータ 8.0×10 ⁴ (Bq/L) 漏えいした水の分析結果から, 増設多核種除去設備の系統水が漏えいしたと判断いたしました。 なお, 漏えいした水については, 今後, 準備が整い次第, 回収処理いたします。 【公表区分: C統】 ※添付の有(無)
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは, 日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所, 発生時刻, 種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況, 故障機器の応急復旧, 拡大防止措置等の時刻, 場所, 内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況, 被ばく患者発生状況等について記載する。

15:03

様式0-1(1/2)

応急措置の概要(原子炉施設)

(第19868報)

1/3

2019 年 7 月 6 日 14 時 35 分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー
 福島第一原子力発電所
 原子力防災管理者 磯貝 智彦

連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ) (対応日時, 対応の概要)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>第12993報他でお知らせした、地下貯水槽周辺の観測孔において全ベータ放射能が上昇した事象、及び第13274報他でお知らせした、地下貯水槽i南西側及び北東側の漏えい検知孔水において全ベータ放射能が上昇した事象について、下記のとおり水の分析を実施しましたので、お知らせします。</p> <p>・地下貯水槽 分析結果 [採取日 7月4日、5日]</p> <p>今回の分析結果は、至近の分析結果と比較して有意な変動はありませんでした。</p> <p>引き続き、地下貯水槽周辺の監視を行うとともに、全ベータ放射能が上昇した原因を調査していきます。</p> <p>【公表区分：D統】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

2019年7月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽 分析結果(2019年7月4日分)

地下貯水槽(ドレン孔水)														
	i		ii		iii		iv		v		vi		vii	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻					7:22	7:05								
トリチウム(Bq/L)			ND(220)	ND(220)										
半減期	トリチウム:約12年													

地下貯水槽(漏えい検知孔水)														
	i		ii		iii		iv*		v*		vi		vii*	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻					7:12	6:48					7:35			
トリチウム(Bq/L)			ND(220)	ND(220)							ND(220)			
半減期	トリチウム:約12年													

(注1)トリチウムは月1回分析を行っている。
(注2)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。
* 漏えい検知孔iv、v、viiは、採取対象としていない。

2019年7月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

地下貯水槽 分析結果 (2019年7月5日分)

地下貯水槽(ドレン孔水)														
	i		ii		iii		iv		v		vi		vii	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻													7:38	7:44
全べ一々(Bq/L)													ND(26)	81

地下貯水槽(漏えい検知孔水)														
	i		ii		iii		iv*		v*		vi		vii*	
	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北東側	南西側	北西側	南東側	北西側	南東側	北東側	南西側
採取時刻														
全べ一々(Bq/L)														

(注)NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

*漏えい検知孔iv、v、viiは、採取対象としていない。

15:03

様式9-1(1/2)

応急措置の概要 (原子炉施設)

(第19869報)

2019年7月6日14時35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	<p>(対応日時, 対応の概要) プラント関連パラメータ、タンクエリアパトロール結果等について、下記の通りお知らせいたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント関連パラメータ [7月6日11時00分現在] ・サブドレン等核種分析結果 [採取日 7月5日] ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 [採取日 7月5日] ・福島第一原子力発電所構内排水路分析結果 [採取日 7月5日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 護岸地下水 [採取日 7月1日、2日、3日、5日] ・福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果 海水 [採取日 7月5日] <p>・発電所敷地内におけるモニタリング結果について、前回のお知らせから有意な変動はありません。</p> <p>・タンクエリアパトロール及び汚染水タンク水位計による常時監視において、漏えい等の異常はありません。</p> <p>・建屋滞留水の移送状況について、パトロール及び警報監視において、漏えい等の異常は確認されません。</p> <p>サブドレン他水処理施設一時貯水タンクDの当社及び第三者機関による分析結果については、共に運用目標値を満足していたことから、7月7日に排水を実施します。 排水開始・終了の実績については、別途お知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果 [採取日 7月2日] <p>【公表区分：その他】</p> <p>※添付の有・無</p>
その他の事項の対応(注3)	なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

- (注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。
- (注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。
- (注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

2019年7月6日 11:00現在

(備考事項)
各計測器については、地震やその他の異常事態の際に計測値が変動する恐れがあり、通常の使用状態と異なる値を示しているものもあり、正しく測定されていない可能性のある計測器も存在している。プラントの状態を把握するため、このよう計測器の不確かさを考慮して、当該の計測器から得られる情報を活用して変化の傾向にも留意して総合的に判断している。

	1号機	2号機	3号機	4号機
原子炉注水状況	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (7/6 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (7/6 11:00 現在)	給水系: 1.5 m ³ /h CS系: 1.5 m ³ /h (7/6 11:00 現在)	
原子炉圧力容器底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1): 22.9 °C 原子炉 SKIRT JOINT 上部 (TE-263-69H1): 22.7 °C VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2): 22.7 °C (7/6 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3): 28.1 °C RPV温度 (TE-2-3-69R): 29.5 °C (7/6 11:00 現在)	スカートジャンクション上部温度 (TE-2-3-69F1): 25.8 °C RPV底部ヘッド上部温度 (TE-2-3-69H1): 24.9 °C (7/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A): 22.9 °C HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F): 22.7 °C (7/6 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B): 28.7 °C SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1): 28.3 °C (7/6 11:00 現在)	格納容器空調機戻り空気温度 (TE-16-114A): 26.1 °C 格納容器空調機供給空気温度 (TE-16-114F#1): 24.5 °C (7/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器圧力	0.29 kPa g (7/6 11:00 現在)	3.13 kPa g (7/6 11:00 現在)	0.38 kPa g (7/6 11:00 現在)	
窒素封入流量 ※3	RPV (JP-A): 27.99 Nm ³ /h ※6 (JP-B): - Nm ³ /h ※6 PCV: - Nm ³ /h ※4 (7/6 11:00 現在)	RPV: 8.21 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (7/6 11:00 現在)	RPV: 16.94 Nm ³ /h PCV: - Nm ³ /h (7/6 11:00 現在) ※4	
原子炉格納容器ガス管理システム排気流量	20.6 m ³ /h (7/6 11:00 現在)	14.39 Nm ³ /h (7/6 11:00 現在)	18.93 Nm ³ /h (7/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器水素濃度 ※1	A系: 0.00 vol% B系: 0.00 vol% (7/6 11:00 現在)	A系: 0.10 vol% B系: 0.10 vol% (7/6 11:00 現在)	A系: 0.08 vol% B系: 0.06 vol% (7/6 11:00 現在)	
原子炉格納容器放射能濃度 (Xe135) ※2	A系: 指示値 7.00E-04 検出限界値 4.20E-04 B系: 指示値 1.21E-03 検出限界値 3.60E-04 (7/6 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 1.5E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 1.4E-01 (7/6 11:00 現在)	A系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 B系: 指示値 ND 検出限界値 2.2E-01 (7/6 11:00 現在)	Ba/cm ³ Ba/cm ³
使用済燃料プール水温度	29.6 °C (7/6 11:00 現在)	29.7 °C (7/6 11:00 現在)	28.6 °C (7/6 11:00 現在)	※5 (7/6 11:00 現在)
FPC 注水ノック水位	3.75 m (7/6 11:00 現在)	2.22 m (7/6 11:00 現在)	3.43 m (7/6 11:00 現在)	※7 67.1 X100mm (7/6 11:00 現在)

(計測値に関する情報)
※1: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(水素濃度が極めて低い場合は、計測精度によりマイナスイキ表示される場合があるため)
※2: 指示値が放射能濃度管理システムの水素濃度を記載する。
※3: 指示値が検出限界値未満の場合はNDと記載する。原子炉格納容器ガス管理システムの放射能濃度 (Xe135) を記載する。
※4: 窒素封入停止中

※5: 4号機使用済燃料プール冷却系一次系ポンプ停止中
※6: 窒素封入異常発生 (PTW)
※7: 3号機使用済燃料プール内キャスク格子上げ

2/9

サブドレン等核種分析結果

(データ集約: 7/6)

採取場所	福島第一 1号機 サブドレン	福島第一 2号機 サブドレン	福島第一 3号機 サブドレン	福島第一 4号機 サブドレン	福島第一 5号機 サブドレン	福島第一 6号機 サブドレン	福島第一 構内深井戸
試料採取日時刻	2019年7月5日 7時05分	2019年7月5日 7時15分	2019年7月5日 6時42分	2019年7月5日 7時19分	2019年7月5日 7時49分	2019年7月5日 8時00分	対象外
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)						
I-131 (約8日)	ND(6.4)	ND(4.7)	ND(4.8)	ND(5.0)	ND(4.6)	ND(4.5)	-
Cs-134 (約2年)	7.6	ND(5.7)	ND(5.1)	ND(5.6)	ND(4.0)	ND(4.5)	-
Cs-137 (約30年)	160	130	ND(5.6)	5.5	ND(4.4)	ND(4.7)	-

※ NDは検出限界値未満を表し、() 内に検出限界値を示す。

3/19

2019年7月6日

集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

I-131 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 6/16 to 7/5. Rows 1-9 show I-131 concentration data.

Cs-134 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 6/16 to 7/5. Rows 1-9 show Cs-134 concentration data.

Cs-137 (Bq/L)

Table with columns for measurement location (測定場所) and dates from 6/16 to 7/5. Rows 1-9 show Cs-137 concentration data.

- <測定箇所>
①4号T/S建屋南東
②プロセス建屋北東
③プロセス主建屋南東
④プロセス主建屋南西
⑤焼固体廃棄物減容処理建屋南
⑥サイトハンカ建屋南西
⑦焼却工作棟 西側
⑧焼固体廃棄物減容処理建屋北
⑨サイトハンカ建屋南東

※I-131はサンプリング・測定を実施していないことを示す。
※④は④が採取不可だったため、地下水流の上流側として選定し、週1回程度の頻度で測定(2011/4/29~)
※⑥は地下水流の下流側であることから、追加で測定(2011/5/28~)
※⑧を追加で測定(2011/5/30~)
※⑨を追加で測定(2011/8/2~)
※⑩は検出限界値未満を示し、() 内に検出限界値を示す。

4/9

2019年7月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所推進カンパニー

福島第一原子力発電所構内排水路分析結果

単位: Bq/L

A排水路		物揚場排水路	
採取日	7月5日	/	
採取時刻	7:10		
降雨量(mm/日)	0		
流量(m ³ /秒)	解析中		
Cs-134(約2年)	ND(0.56)		
Cs-137(約30年)	5.4		
全β	9.3		
H-3(約12年)	-		

単位: Bq/L

K排水路		BC排水路	
採取日	7月5日	/	
採取時刻	6:00		
降雨量(mm/日)	0		
流量(m ³ /秒)	解析中		
Cs-134(約2年)	4.2		
Cs-137(約30年)	62		
全β	95		
H-3(約12年)	-		

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

5/9

2019年7月6日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(1/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻	7月1日 9:02	7月1日 8:52	7月1日 7:37	7月1日 8:26	7月1日 8:37	7月1日 8:00	7月2日 7:49	7月2日 8:07	7月2日 7:04	7月3日 8:44	7月2日 7:17	7月2日 8:30	7月2日 7:29	7月2日 8:20	7月2日 7:33
塩素(単位: ppm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	56	—	—	—	—	—
Cs-134(約2年)	2.6	ND(0.26)	ND(0.48)	ND(0.34)	ND(0.30)	ND(0.32)	ND(0.38)	1,500	100	—	ND(0.31)	36	ND(0.41)	0.66	ND(0.40)
Cs-137(約30年)	30	ND(0.38)	ND(0.48)	ND(0.44)	ND(0.41)	ND(0.49)	ND(0.48)	19,000	1,300	—	ND(0.35)	480	ND(0.54)	9.1	ND(0.52)
その他	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16	ND	—	ND	ND	ND	ND	ND
γ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全β	170	ND(13)	ND(13)	ND(13)	51	ND(13)	35,000	140,000	10,000	150	ND(14)	2,000	24,000	25,000	84,000
H-3(約12年)	8,700	11,000	230	ND(110)	28,000	12,000	42,000	1,100	4,000	650	910	30,000	1,300	500	25,000
Sr-90(約29年)	—	—	—	—	—	—	分析中	分析中	分析中	—	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中

採取日	12号機 ウェルポイント 汲み上げ水	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	2,3号機 汲み上げ水	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	3,4号機 汲み上げ水
採取時刻	7月2日 7:48	—	—	—	—	7月3日 8:24	—	—	—	—	—	—	—	—	—
塩素(単位: ppm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Cs-134(約2年)	ND(0.76)	—	—	—	—	ND(0.35)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Cs-137(約30年)	5.1	—	—	—	—	3.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	ND	—	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	—	—	—	—
γ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
全β	160,000	—	—	—	—	190	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H-3(約12年)	21,000	—	—	—	—	880	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Sr-90(約29年)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

* 太枠内が今回公表データ。他は7月2日、3日、4日にお知らせ済み。
 * NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「—」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてる過後に測定。

6/9

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(2/3)護岸地下水

単位: Bq/L (塩素除く)

採取日	地下水観測孔 No.0-1	地下水観測孔 No.0-1-2	地下水観測孔 No.0-2	地下水観測孔 No.0-3-1	地下水観測孔 No.0-3-2	地下水観測孔 No.0-4	地下水観測孔 No.1	地下水観測孔 No.1-6	地下水観測孔 No.1-8	地下水観測孔 No.1-9(注)	地下水観測孔 No.1-11	地下水観測孔 No.1-12	地下水観測孔 No.1-14	地下水観測孔 No.1-16	地下水観測孔 No.1-17
採取時刻							7月5日 8:36	7月5日 9:25		7月5日 8:02	7月5日 7:54	7月5日 9:12	7月5日 8:31	7月5日 9:03	7月5日 8:17
塩素(単位: ppm)										54					
Cs-134(約2年)							ND(0.31)	1,400			ND(0.43)	40	ND(0.34)	0.46	ND(0.41)
Cs-137(約30年)							ND(0.40)	19,000			0.58	540	ND(0.48)	11	ND(0.58)
Co-60(約5年)							ND	24			ND	ND	ND	ND	ND
その他															
γ															
全β							37,000 *1	140,000		150	19	2,100	25,000	26,000	84,000
H-3(約12年)							分析中	分析中		分析中	分析中	分析中	分析中	分析中	分析中
Sr-90(約29年)															

採取日	地下水観測孔 No.2	地下水観測孔 No.2-2	地下水観測孔 No.2-3	地下水観測孔 No.2-5(注)	地下水観測孔 No.2-6	地下水観測孔 No.2-7	地下水観測孔 No.2-8	地下水観測孔 No.3	地下水観測孔 No.3-2	地下水観測孔 No.3-3	地下水観測孔 No.3-4	地下水観測孔 No.3-5(注)	3,4号機 改修ウエル 汲み上げ水
採取時刻						7月5日 9:14							
塩素(単位: ppm)						500							
Cs-134(約2年)					ND(0.47)	ND(0.28)							
Cs-137(約30年)					3.1	1.2							
Co-60(約5年)					ND	ND							
その他													
γ													
全β					210	280							
H-3(約12年)					分析中	分析中							
Sr-90(約29年)													

* NDは検出限界値未満を表し、「その他γ」を除き()内に検出限界値を示す。
 * 測定対象外の項目は「-」と記す。また、「その他γ」は検出されたときに記す。
 (注) No.1-9, 2-5, 3-5は、採水器による採取であるため、γ測定は実施せず。全βは参考値としてろ過後に測定。
 * 1 過去最高値(「福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果」およびその関連の参考資料で過去に示した値との比較)

17/9

福島第一港湾内、放水口付近、護岸の詳細分析結果(3/3)海水

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一 5,6号機 放水口北側 (T-1)	福島第一 6号機 取水口前	福島第一 物揚場前	福島第一 1~4号機 取水口内北側 (東浜除染北側)	福島第一 1~4号機 取水口内南側 (避水壁前)	福島第一 南放水口 付近 (T-2)(注)	福島第一 港湾口	福島第一 港湾内 東側	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	7月5日	7:30	7:25	7:05	7月5日 6:42	7月5日 6:47	7月5日 6:30	7月5日 6:30	7月5日 6:28		
採取時刻		7:30	7:25	7:05	6:42	6:47	6:30	6:30	6:28		
Cs-134 (約2年)		ND(0.78)	ND(0.40)	ND(0.43)	0.83	2.4	ND(0.74)	ND(0.37)	ND(0.28)	60	10
Cs-137 (約30年)		ND(0.53)	ND(0.59)	1.5	15	29	ND(0.53)	1.2	1.6	90	10
全β		-	ND(17)	ND(17)	17	41	13	ND(14)	ND(19)		
H-3 (約12年)		-	-	-	-	-	分析中	-	-	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)		-	-	-	-	-	-	-	-	30	10

単位: Bq/L

採取日	採取時刻	福島第一 港湾内 西側	福島第一 港湾内 北側	福島第一 港湾内 南側	福島第一 港湾中央	福島第一 北防波堤 北側 (T-0-1)	福島第一 港湾口 北東側 (T-0-1A)	福島第一 港湾口 東側 (T-0-2)	福島第一 港湾口 南東側 (T-0-3A)	福島第一 南防波堤 南側 (T-0-3)	※ 告示濃度 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
採取日	7月5日	6:34	6:36	6:32	7月5日 6:26	7月5日 6:26	7月5日 6:26	7月5日 6:26	7月5日 6:26	7月5日 6:26		
採取時刻		6:34	6:36	6:32	6:26	6:26	6:26	6:26	6:26	6:26		
Cs-134 (約2年)		ND(0.26)	ND(0.24)	ND(0.29)	ND(0.36)	ND(0.36)	ND(0.36)	ND(0.36)	ND(0.36)	ND(0.36)	60	10
Cs-137 (約30年)		1.4	0.78	1.8	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	90	10
全β		ND(19)	ND(19)	ND(19)	ND(14)	ND(14)	ND(14)	ND(14)	ND(14)	ND(14)		
H-3 (約12年)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	60,000	10,000
Sr-90 (約29年)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	10

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

* 測定対象外の項目は「-」と記す。

* 物揚場前は、シルトフェンス閉鎖を行った日(南放水口付近海水)については、トリチウムの分析も行っている(2014年10月19日以降)。

(注) 地下水バイパス排水の翌朝採取した「南放水口付近海水」については、トリチウムの分析も行っている(2014年10月19日以降)。

* 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度

(別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

8/19

9/9

2019年7月6日
 東京電力ホールディングス株式会社
 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 サブドレン・地下水ドレン浄化水の分析結果

単位: Bq/L

一時貯水タンク D (サンプルタンク D)		運用目標	告示濃度 ※1 限度	WHO飲料水 水質ガイドライン
探取日	東京電力 2019年7月2日			
探取時刻	8:08			
貯水量 [m ³]	670			
セシウム134	ND(0.56)	1	60	10
セシウム137	ND(0.46)	1	90	10
その他 ガンマ核種	検出なし	※2 検出されないこと		
全ベータ	ND(2.6)	3(1) ^(注)		
トリチウム	990	1,500	60,000	10,000

* 第三者機関: 東北緑化環境保全株式会社

* NDは検出限界値未満を表し、()内に検出限界値を示す。

(注) 運用目標の全ベータについては、10日に1回程度の分析では、検出限界値を 1 Bq/Lに下げて実施。

※1 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度
 (別表第1第六欄: 周辺監視区域外の水中の濃度限度[本表では、Bq/cm³の表記をBq/Lに換算した値を記載])

※2 セシウム134, セシウム137の検出限界値「1Bq/L未満」を確認する測定にて検出されないこと(天然核種を除く)。

15:03

様式0-1(1/2)
(第19870報)

応急措置の概要 (原子炉施設)

2019年 7月 6日 14時 35分

内閣総理大臣, 原子力規制委員会, 福島県知事, 大熊町長, 双葉町長 殿

第25条報告

報告者名 東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所
原子力防災管理者 磯貝 智彦
連絡先 0240-30-9301

原子力災害対策特別措置法第25条第2項の規定に基づき、応急措置の概要を以下の通り報告します。

原子力事業所の名称及び場所	福島第一原子力発電所 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22
特定事象の発生箇所(注1)	福島第一原子力発電所
特定事象の発生時刻(注1)	2011年(平成23年)3月11日 16時36分(24時間表示)
特定事象の種類(注1)	非常用炉心冷却装置注水不能 (原災法政令第6条第4項第4号, 省令第21条第1項ロ)
発生事象と対応の概要(注2)	(対応日時, 対応の概要) 第19863報でお知らせしたとおり、サブドレン他水処理施設一時貯水タンクCに貯水していた水について、本日以下のとおり排水を実施しました。 ・排水開始 : 10時16分 ・排水終了 : 14時01分 ・排水量 : 558m ³ 排水状況については、漏えい等の異常がないことを確認しております。 【公表区分:E】
その他の事項の対応(注3)	※添付の有・無 なし

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(注1) 最初に発生した警戒事態該当事象の発生箇所、発生時刻、種類について記載する。

(注2) 設備機器の状況、故障機器の応急復旧、拡大防止措置等の時刻、場所、内容について発生時刻順に記載する。

(注3) 緊急時対策本部の設置状況、被ばく患者発生状況等について記載する。